

「西宮市再生可能エネルギー・省エネルギー推進計画(素案)」について提出されたご意見等の概要とそれに対する市の考え方

平成26年1月21日から平成26年2月20日までの期間で実施しました意見提出手続(パブリックコメント手続)に基づく意見募集について、お寄せいただいた意見の概要とそれに対する市の考え方を取りまとめました。

意見提出者：7名

(内訳)男性6名 女性:1名 不明:0名

会社員:1名 自営業:1名 無職:2名 その他:1名 不明:2名

40歳代:2名 60歳代:1名 70歳代:2名 80歳代:1名 不明:1名

メール:5名 郵送:1名 持参:1名

本庁地域:4名 鳴尾地域:1名 甲東地域:1名 市外:1名

意見件数：26件

意見の概要と市の考え方:

意見番号	意見の概要	件数	市の考え方	素案ページ	回答分類	担当
1 目標設定に関すること						
1-1	「平成32年度までに平成22年度と比べて市域の再生可能エネルギー等の導入率を2倍以上とする」について、目標としては低い数字ではないか。	3件	再生可能エネルギー等の導入目標については、西宮市で最も導入可能性の高い太陽光発電と廃棄物発電を指標としています。再生可能エネルギー等の導入目標全体としては2倍以上としていますが、個別に見ると廃棄物発電は1.2倍、太陽光発電は9.5倍となっています。	資-26	素案に記載	環境・エネルギー政策課
2 各再生可能エネルギーのポテンシャルに関すること						
2-1	洋上風力発電を設置することは考えられないか。	1件	国レベルで実証実験段階であり、今後も動向を注視していきます。	-	今後参考・検討	環境・エネルギー政策課
2-2	市内の河川等に小水力発電設備を建設することは考えられないか。	3件	小水力発電機による発電量は、設置する河川の流量及び落差(高低差)に比例して増加しますが、設置に際しては、設置コストに見合う発電量が期待できる河川かどうかということのほか、水利権や治水の観点から問題がないか、十分な調査・検討が必要となります。技術の進歩に注視しながら、今後、適地がないか検討していきます。	29	今後参考・検討	環境・エネルギー政策課
2-3	残飯やし尿などを利用したバイオマスエネルギーの導入の可能性はあると思う。	1件	バイオマスについては、食品残さや廃油などの回収方法の確立、プラントの整備にかかる経費等課題がありますが、市内にはバイオマス燃料製造に取り組まれている事業者もあり、また、食品製造業も多く立地していることから、今後とも調査・研究していきます。	29	今後参考・検討	環境・エネルギー政策課

意見番号	意見の概要	件数	市の考え方	素案ページ	回答分類	担当
2-4	各種の自然エネルギーコストの比較を提示して、西宮市に最適な自然エネルギーの活用は何かを、市民に示すことが必要であると考えます。	1件	今後、各事業者や各家庭の再生可能エネルギーの活用事例などを市ホームページに掲載するなど、上手なエネルギーの利用について紹介していきたいと考えています。	39	今後参考・検討	環境・エネルギー政策課
3 太陽光発電設備に関すること						
3-1	太陽光発電装置を設置するのに費用やその回収可能性などでハードルがある方の為に、市が市内の全ての建物の屋根を対象に賃借し、装置を取り付けて売電することを提案する。	1件	市内の全ての建物の屋根を市が賃借することは困難であると考えます。なお、兵庫県には住宅用太陽光発電設備などを設置する方の初期費用を低減するための低利な融資制度があります。	54	対応困難	環境・エネルギー政策課
3-2	西宮市条例で戸建、共同住宅建築(新築)時に、建物と屋上の強度を強化してソーラー発電を義務付けることが再生可能エネルギーの普及の要因となると考える。	1件	兵庫県「環境の保全と創造に関する条例」において、建築物及びその敷地についての緑化基準が設けられており、敷地に太陽電池を設置した場合、その設置面積の2分の1を乗じて得る面積を緑地の面積に算入することができるなどの定めがあります。このような事例も踏まえ、今後の施策推進の参考とさせていただきます。	-	今後参考・検討	環境・エネルギー政策課
3-3	ひょうごアイスアリーナ、名塩地域における大型ソーラー発電事業の発電量、売電量のデータを毎月市政ニュースに公表してほしい。	1件	発電量等の公表をしない事業者もあると考えられますが、可能な場合は市のホームページ等での公表を考えています。	39	今後参考・検討	環境・エネルギー政策課
3-4	起用することの始まりは良いが、ソーラーパネルの太陽熱による劣化は非常に大きく、メンテナンスとともに取り外したパネルのリサイクルや廃棄処理方法もあらかじめ検討しておく必要がある。	1件	太陽光発電システムの廃棄方法については、現在定まっておらず、いくつかの課題があるのが現状です。最近、統一した処理の方法を検討する動きもありますので、その動向を注視したいと考えます。	-	今後参考・検討	環境・エネルギー政策課
3-5	市の個人に対する太陽光発電設備の補助事業について、平成25年度の申し込み枠は500件であったが、800件まで増やしていただきたい。	1件	太陽光発電設備の設置コストが下がってきているため、太陽光発電設備の補助は継続するものの、今後は太陽光発電設備に対する補助を相対的に縮小し、他の再生可能エネルギーや省エネルギー設備に対する補助についても、拡充していきたいと考えております。	-	対応困難	環境・エネルギー政策課
3-6	鉄道会社の市内各駅のプラットホームを改修し、太陽光パネルを載せるように要請してはどうか。真夏にもエスカレーターを止めなくてすむ方がベターだし、従業員の詰め所の冷房なども止めないほうが安全運転に役立つでしょう。各鉄道会社に10年計画などで進めてもらったらどうでしょう。	1件	各企業が省エネルギーを徹底し、効果的に再生可能エネルギーを導入することは、エネルギー使用量の抑制やピークカットに資することとなり、また、ご意見のとおり、有効に電力を使用することができます。カーボン・ニュートラル・ステーションのようなCO2排出量を実質的にゼロとする駅の事例もあります。企業と参画と協働によりエネルギー施策を推進する上での参考にさせていただきます。	31	今後参考・検討	環境・エネルギー政策課

意見番号	意見の概要	件数	市の考え方	素案ページ	回答分類	担当
4 再生可能エネルギー全般に関すること						
4-1	「再生可能エネルギー事業」の取り組みや「CO2排出削減、省エネルギー」への啓蒙活動をする市民団体が増えてほしい。そういった団体は市民発である方が望ましいものの、再生可能エネルギー導入は急を要することでもあり、行政主導で会を発足させてもよいのではないかと考える。	2件	環境学習都市宣言の理念に基づき、市民・事業者・行政のパートナーシップにより今後も計画推進に取り組んでいき、市民団体の活動状況についての把握を進め、再生可能エネルギーや省エネルギーを推進する団体に対して協働や支援を行っていきます。	39	今後参考・検討	環境・エネルギー政策課
4-2	長野県飯田市の「再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくりに関する条例」や滋賀県湖南市の「地域再生可能エネルギー基本条例」などのような、仕組み作りを検討して頂きたい。	1件	本市の環境分野における政策方針については、すでに西宮市環境基本条例が策定されており、この条例の規定する基本方針のもとに本計画が定められるものです。現在のところ、エネルギーに関する政策方針に特化した条例を制定する予定はありません。	-	今後参考・検討	環境・エネルギー政策課
4-3	再生可能エネルギー設備を設置することで、小中高生の環境教育に活用すべきである。	1件	現在、教育委員会では、夙川小学校を環境モデル校と位置づけて、設備容量40kWの太陽光発電設備を設置し、子どもたちがモニターで発電量をリアルタイムに確認できるような仕組みを導入するなど、一部ですでに環境教育の活用を図っています。今後も単に設備を導入するだけでなく、それを活用した環境教育にも取り組んでいきます。	-	素案に記載済	環境・エネルギー政策課
5 その他						
5-1	計画の推進には、市民・事業所の積極的な行動がなくてはならず、西宮市として、市民・事業所への思いきったアピールと、教育・啓発活動へのさらなる努力をして欲しいと願う。具体的には、市役所や学校等の公共の場で、環境グループが講演会やイベントをどんどん行う。個人、事業所問わず広範囲の人が参加できるものを考えてほしい。	1件	既存の環境関連イベントや講演会、節電講演会などをはじめ、市民や事業者を対象としたワークショップを開催するなど、ともに考えていく場を積極的につくっていきたくと考えています。	31	素案に記載済	環境・エネルギー政策課
5-2	エネルギーや環境に関心の高い企業などにも声をかけ、市内の大学の援助も受けて、西宮市主催の盛大なシンポジウムを開催するなどはどうでしょう。市長や環境局長が市の方針を説明し、市民との対話を大胆に展開して欲しい。	1件	既存の環境関連イベントや講演会、節電講演会などをはじめ、市民や事業者を対象としたワークショップを開催するなど、ともに考えていく場を積極的につくっていかば、大学等と連携した大規模なシンポジウム等については、時期をみて検討します。	31	今後参考・検討	環境・エネルギー政策課
5-3	西宮市に眠っている再生可能エネルギー資源を発掘し尽くすために、研究者や事業者など専門家集団の知恵を集めることが必要だと考える。	1件	再生可能エネルギー等に関する技術開発の進捗状況を見ながら、段階に応じて西宮市に導入可能な再生可能エネルギー等について、研究者や事業者等による専門的な検討機関を設置する必要があると考えています。	30	素案に記載済	環境・エネルギー政策課
5-4	エネファームは、コストをかけて精製したガスを、燃焼させて電力化するものであるため、高コストで無駄が多く、廃止すべきである。	1件	エネファームは、都市ガスやLPガスから水素を取り出し、空気中の酸素と化学反応させ発電する燃料電池です。電力を消費する家庭で発電するため送電ロスがなく、また、発電に際して発生する熱を給湯等に利用するコージェネレーションシステムであり、従来の機器に比べエネルギー利用率が高く、CO ₂ 排出量の削減効果も大きいものです。	-	対応困難	環境・エネルギー政策課

意見番号	意見の概要	件数	市の考え方	素案ページ	回答分類	担当
5-5	「高効率給湯器(ヒートポンプ、コージェネレーション等)、燃料電池…」と記載されているが、高効率給湯器としては潜熱回収型の給湯器もある。また、家庭用コージェネレーションシステムはガスエンジン給湯器とも呼ばれ高効率給湯器の一つとして扱われることがあるが、家庭用に限定される。よって、当該部分を「高効率給湯器(ヒートポンプ、潜熱回収型給湯器等)、コージェネレーション、燃料電池…」と記載されてはいかがか。	1件	いただいたご意見を反映した内容に変更します。	29	意見を反映	環境・エネルギー政策課
5-6	アンケート調査結果によると、エネルギーや環境問題に非常に関心がある26.1%、ある程度関心がある66.1%となっています。この市民の声を大切にしてください。	1件	本市では、各地域のエココミュニティ会議など、市民や地域団体、事業者の環境活動が盛んです。また、アンケート調査結果によると90%以上の方がエネルギーや環境問題に関心があると回答しています。今後、これらの方の声を尊重しながら、施策・事業を推進していきたいと考えています。	31	素案に記載 済	環境・エネルギー政策課
5-7	いま、西宮市には約300の避難所と約170の津波避難ビルが指定されています(重複がある)が、これらの建物の1階、2階などが浸水した状態で、上の階に避難した住民を考えると夜間の照明がありません。 こうした建物での避難者を受け入れる集会室や共用廊下などの夜間の照明などには、普段から、日常的に太陽光パネルと蓄電池によって供給される電力を利用する体制に切り換えたらどうでしょう。 工事可能な避難所や津波避難ビルに関して、海に近い所から開始して、5年程度で、JR線以南に関して完了させるべきです。	1件	現在(H25.12.1)、指定避難所は139、津波避難ビルは234あります。JR以南の指定避難所・津波避難ビルは津波発生時に屋上への避難を想定していたり、屋根の強度や向きなど、太陽光パネルや蓄電池の設置に適さない場合があるため、可能な範囲で国の補助金等も活用しながら整備を進めていきます。なお、避難所での緊急時の電力供給のため、発動発電機の備蓄を進めるなど災害時に備えた対策に努めております。	31,58, 62	今後参考・検 討	環境・エネルギー政策課 災害対策課